

R6.6.13 市長定例記者会見資料「市街地におけるクマ出没対策について」

1 経緯

期日・曜日	出没(目撃)状況	対応
5/29(水)	8:15 通町公立大南西松川 → 16:15 花沢大橋松川 19:00 終了	警察・市・猟友会追跡、消防ドローン、LINE 発信 翌日朝パトロール(警察:1・4 中、市:花沢大橋)
6/9(日)	5:30 通町公立大西松川 → 13:17 花沢大橋松川 16:12 終了	警察・市追跡、LINE 発信
6/10(月)	20:45 通町ブジクラ電装南 → 行方不明 22:36 終了	警察・市・猟友会追跡、LINE 発信
6/11(火)	なし	警察・市・猟友会パトロール(朝・夕)、LINE 発信、 防災行政無線発信(東部・松川地区+周辺) 監視カメラ 3 台、檻 1 台設置(猟友会・市)

* 全て同一個体でないかと推定(昨年、春日・中田・窪田・上郷に出没、一念峰が住処では)

2 対応協議

期日・曜日	参加者	内容
5/31(金)	市(環境課、森林農村整備課)、警察(地域課、生活安全課)、猟友会(会長、西ブロック長)	状況確認、マニュアル確認、対応策検討、その他
6/3(月) 6/5(水)	市(環境課)、猟友会(会長)	状況整理、対応策検討、その他
6/6(木)	置総(支庁長、保健福祉環境部長、建設部長、河川砂防課長)、市(市民環境・産業・建設部長、環境課)	出没状況・対処方針説明、県管理河川の環境整備 要望→既存の予算内での対応検討(地点案提示)
6/13(木)	置総(支庁長、建設部長、河川砂防課長、環境課長)、 市(市長、市民環境部長、環境課職員)、猟友会(会長、 前会長、西ブロック長)	1 中西側河川周辺の現地視察、対策協議

3 状況

- ・クマの生息頭数は増加しているが急増ではなく、遭遇機会が増えている(特に親子グマ)
- ・昨年の全県的なブナの凶作、暖冬による積雪不足が影響
- ・親離れた若いクマが餌を求めて市街地に出没・住み着き(アーバンベア) → 危険

4 対処方針

- ・市民の命を守ることを最優先とする
- ・市街地及びその周辺に出没するクマは原則捕獲する
* 市街地での銃による捕殺は、安全管理上難しい。(警察官の命令又は緊急避難)
- ・親子クマ(八幡原付近 etc)は、原則的に罠は設置しないが、定着時は例外とする
- ・山に近い地域は、猟友会と相談し、対策を検討する

5 今後の対応策

- ◎ 河川整備
県管理河川→・ 6/6 置総要望、6/13 現地視察(置総、市、猟友会)→実施個所の特定・早期実施
・ 市が占有している河川緑地の下草刈り等(万里橋上流～花沢大橋)【5～9月、月1回】
- ◎ 赤外線対応ドローンの活用(追跡・調査)
緊急対応の検討
今後の対応(緊急時、調査)の検討
- ◎ 猟友会出動・捕獲報酬等の見直し
- ◎ 出動体制の整備、マニュアルの見直し、想定訓練、現場検証
- ◎ その他必要な対策